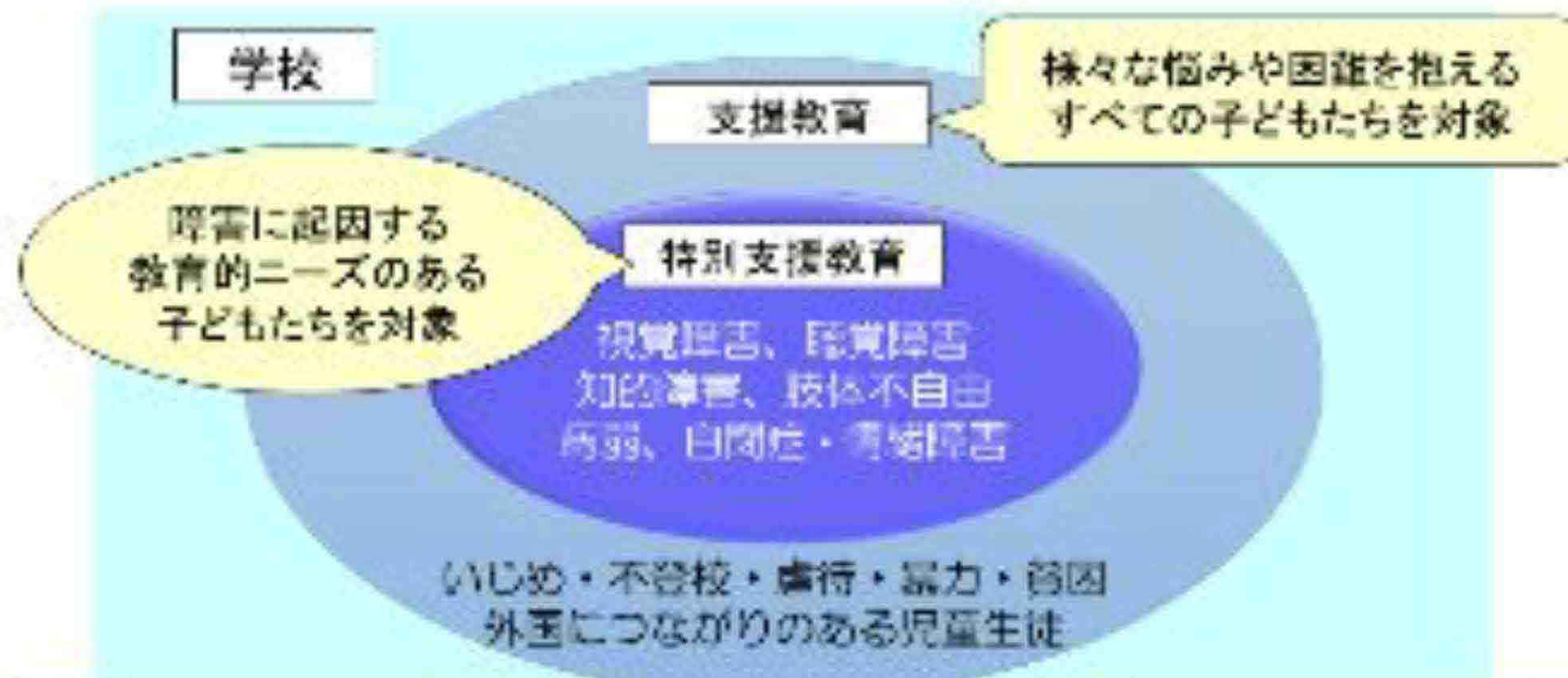


1 支援教育とは

川崎市の支援教育



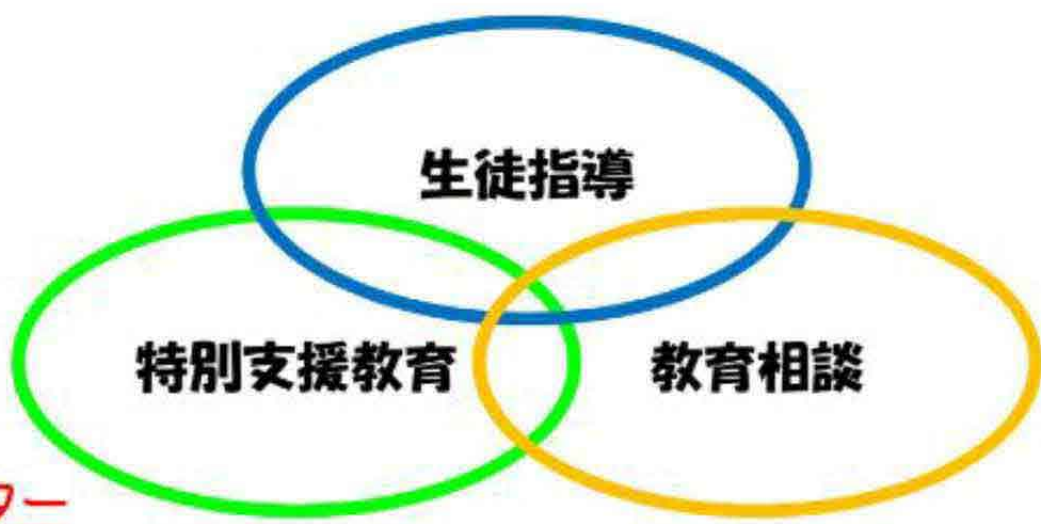
障害の有無にかかわらず、一人ひとりの教育的ニーズに適切に対応していく教育

生徒指導担当と支援教育Coの「協働」を核とした 校内支援体制の構築





支援教育コーディネーター



生徒指導担当

協働(中・高)

障害があってもなくても、生徒の特別な教育的ニーズに的確に responding していく支援教育を協働して推進



2 ○○ 中学校の別室登校支援体制

- ①非常勤講師の先生が9時から毎日常在室
- ②週12時間別室への授業応援
- ③学習サポーター3名配置 週4日来校
- ④各学年の副主任のうち1名が「支援教育担当」となり、Coと学年をつなぐパイプ役となる



3 ○○中学校の強み

○教職員の支援教育への理解が高い

- ・昨年度までの人権尊重教育の研究推進の成果
- ・教職員の協力体制が素晴らしい

4 ○○中学校の取り組み(1日の流れ)

毎朝 8時40分開室 COが別室で受け入れ、

健康観察や1日のスケジュールの確認

生徒は学習予定連絡帳を用いてスケジュールを立てる

授業開始 教室での授業参加・別室でのオンライン授業参加・別室での自習などそれぞれが決めた学習に取り組む

学習予定連絡帳 5月18日(木)予定

2年5組氏名()

入室時間 | 18時 50分 |

校時	教科	方法	成果・評価	担当キョウサ
1		自習・オンライン・教室		
2		自習・オンライン・教室		
3	イラスト	自習・オンライン・教室		
4	イラスト	自習・オンライン・教室		
給食		給食・弁当・×	【場所】 教室・別室	
5		自習・オンライン・教室		
6		自習・オンライン・教室		

退室時間 19時 00分

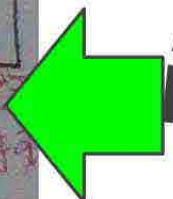
次回の登校予定 月 日() 時

● 別室担当教諭

● 学級担任

● Co

1日の様子や担任からのメッセージなど



別室の先生と会話したり... 自分が入室後... 3時30分まで... (Handwritten notes)



給食 どのようにクラスに入れるかによって配膳、喫食の方法も生徒が選択している。

昼休み 別室でのんびり過ごしたり、サポーターと校庭に遊びに行ったりしている。

午後授業終了 帰り学活に参加する生徒は教室へ。その他の生徒は下校。



5 成果と課題

【成果】

- ・教室へ戻れた事例
- ・宿泊行事や行事へ参加できた事例
- ・級友と関わりがもてるようになった事例
- ・オンライン授業やクラスルームを通じて教員と関わりがもてるようになった 事例

【課題】

- ・二次支援の必要がある生徒数が多くて、対応しきれていない。(人的要因、 場所的要因)



6 支援教育コーディネーターとして感じること 心掛けていること

- ①甘えさせたり、背中を押したり、状況に応じた支援を。
- ②同じ場にいることの良さを。
- ③チームで支援にあたる。
- ④学校は居場所の1つ。
- ⑤進路先でも不登校を防げるような進路決定を。